

321 三里塚へ

三里塚・ジェット闘争貫徹 / 「国鉄35万人体制」粉碎



全国から結集し、三月決戦ストを包み、支えた労働者・農民・市民の大部隊

三月決戦ストの力で 年内二期着工攻撃を粉碎しよう

三里塚芝山連合空港反対同盟は、「3・21三里塚空港廃港・二期着工阻止全国総決起集会」への招請状を発し、全国から総結集することをよびかけている。

わが動労千葉の五日間にわたる三月決戦ストライキの貫徹とこれに支援・連帯する闘う労働者・人民の総決起闘争は、年内二期着工攻撃を強める政府・空港公団に大きな打撃を与えた。

この三月ストライキの生み出した新たな全国的決起をもって3・21三里塚現地集會を大成功させ、軍事大国化・改憲攻撃の焦点である三里塚空港年内二期着工攻撃を粉碎しなければならない。

闘う労働者・人民の魂を揺り動かした 三月決戦スト

三・六総武・房総全面ストライキを頂点とする三・二以降五日間にわたるわが動労千葉のストライキは、権力・国鉄当局に動労千葉一、三〇〇組合員の底力をみせつけ、大いに震撼させると同時に国鉄労働者をはじめとする全国の闘う労働者・人民の魂を揺り動かし、「やれば勝てる」という勇氣をふるたせる闘いであった。

「本部」スト破り集団がいうようにわれわれの三月決戦ストライキは「テレビと軍手とカサ」や、ましてや「警官や公安の増強による警備の強化」を要求し、獲得する闘いではなかった。

文字通り、労農連帯・政治ストライキとして、①三里塚空港粉碎・二期着工阻止、ジェット燃料貨車輸送延長阻止、②国鉄労働運動―日本労働運動の戦闘的再生、③権力・国鉄当局・「本部」スト破り集団一体となった動労千葉解体・破壊攻撃粉碎をかかげた闘いであったのである。

このように闘いであつたからこそ、国鉄労働者をはじめ全ての闘う労働者・人民の魂を揺り動かしているのである。

政府・支配階級の軍事大国化・改憲攻撃の激化と日本労働運動の右傾化・産報化の中で、唯一闘闘性を持ち続ける国鉄労働運動も今日、大きな危機に立たされている。

国労・動労中央が「二〇二億円問題」をもって国鉄からストライキを一掃せんとする政府・国鉄当局の大攻撃の前に屈服し、国鉄三五万人体制攻撃に協力し、特に動労「本部」革マル反動分子のその反動性、反労働者性は、二月十九日以降の助役機関士線見阻止闘争、三・二以降五日間のスト

ライキの中でより公然たるものとなっている。しかし、このような指導部の屈服と協力の中で、あの三月四日の列車掛の乗務拒否に見られる国鉄千葉の仲間の決起は、闘う国鉄労働者の氷山の一角として、わが動労千葉の三月決戦ストライキへの全国的な共感をよびおこし、その魂を揺り動かしていることを示している。

3・21三里塚現地集會に 総結集しよう

われわれは、このような三月決戦ストライキの勝利と成果に自信と確信を一層深め、3・21三里塚現地集會に総結集しなければならない。

今日、年内二期着工攻撃が強まっている。

一月二四日 公団理事角坂が「C滑走路の年内着工」を宣言

二月 九日 松本公団新副総裁が「名実ともに国際空港とするため、二期工事を完成させる」と発言

そして具体的な二期着工攻撃として、①芝山町当局による「公団用地貸付け業務再開」、②公団による「不法耕作禁止」の看板たて、などによる反対同盟の切り崩し、分断・破壊をねらった攻撃が強まっているのである。

われわれは、三月決戦ストを打ち抜いた力をもって、政府・公団による年内着工攻撃粉碎・3・21現地集會を圧倒的にかちとろう。

3・21三里塚空港廃港・二期着工阻止

全国 総決起集會

成田運転区 十時集合